

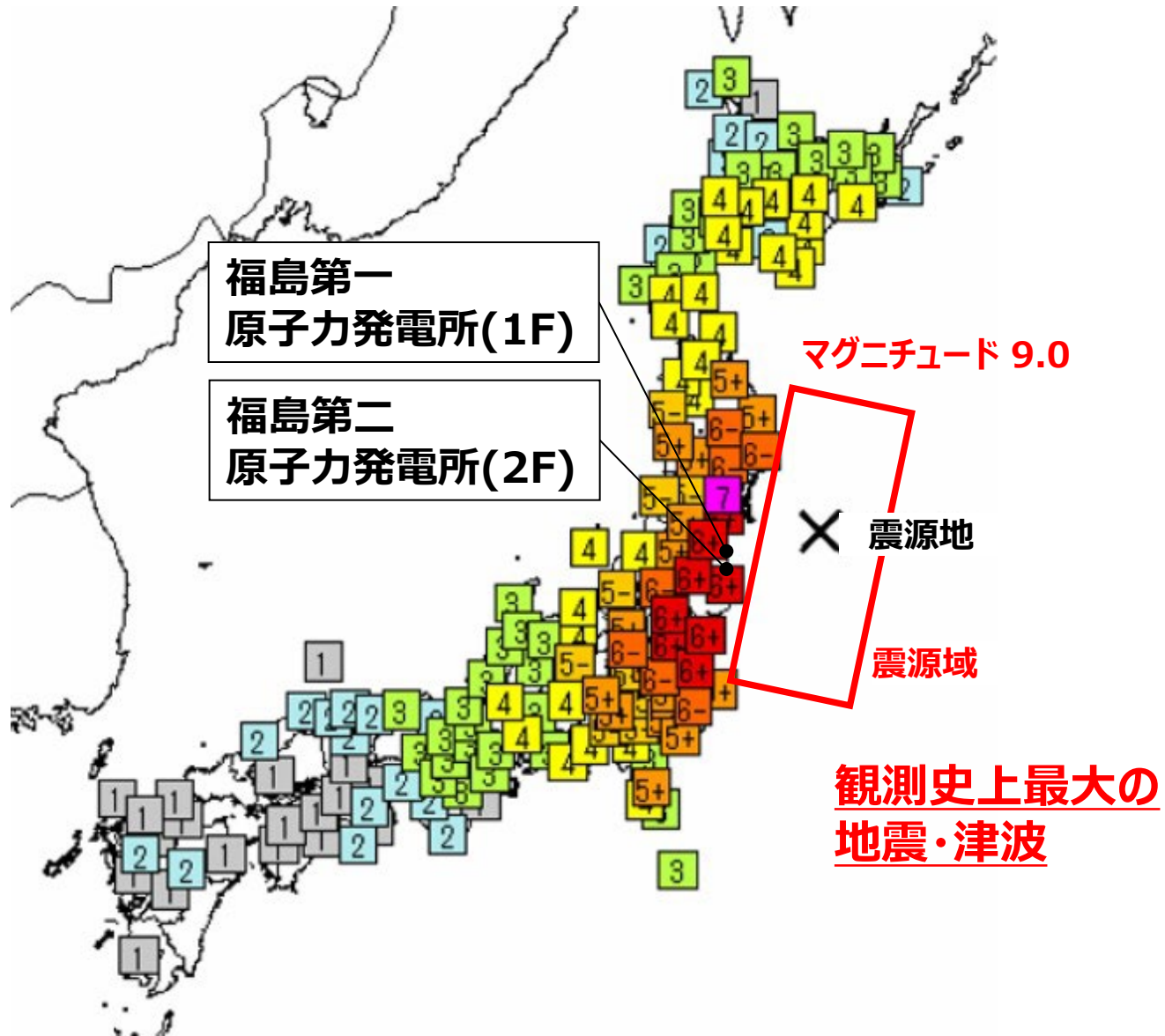
# 事故後の東京電力を率いて ～福島原子力事故からの学び～

---

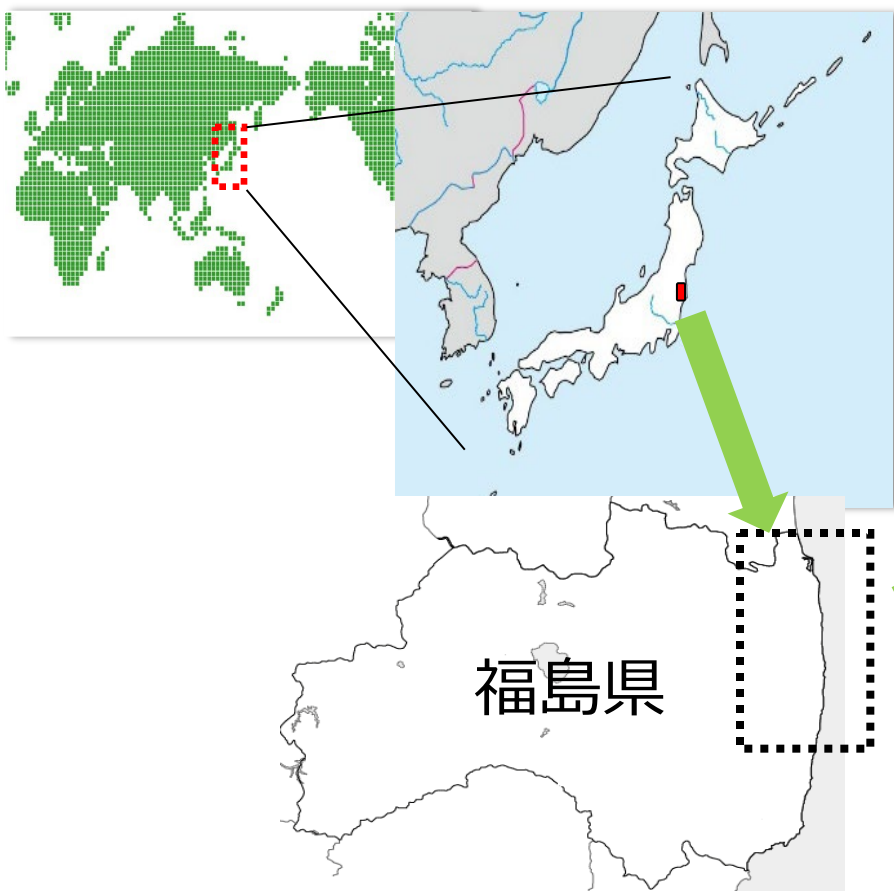
廣瀬 直己

2024年11月21日

# 1-1. 2011年3月11日 東日本大震災



# 1-2. 福島第一、福島第二、広野火力発電所の位置

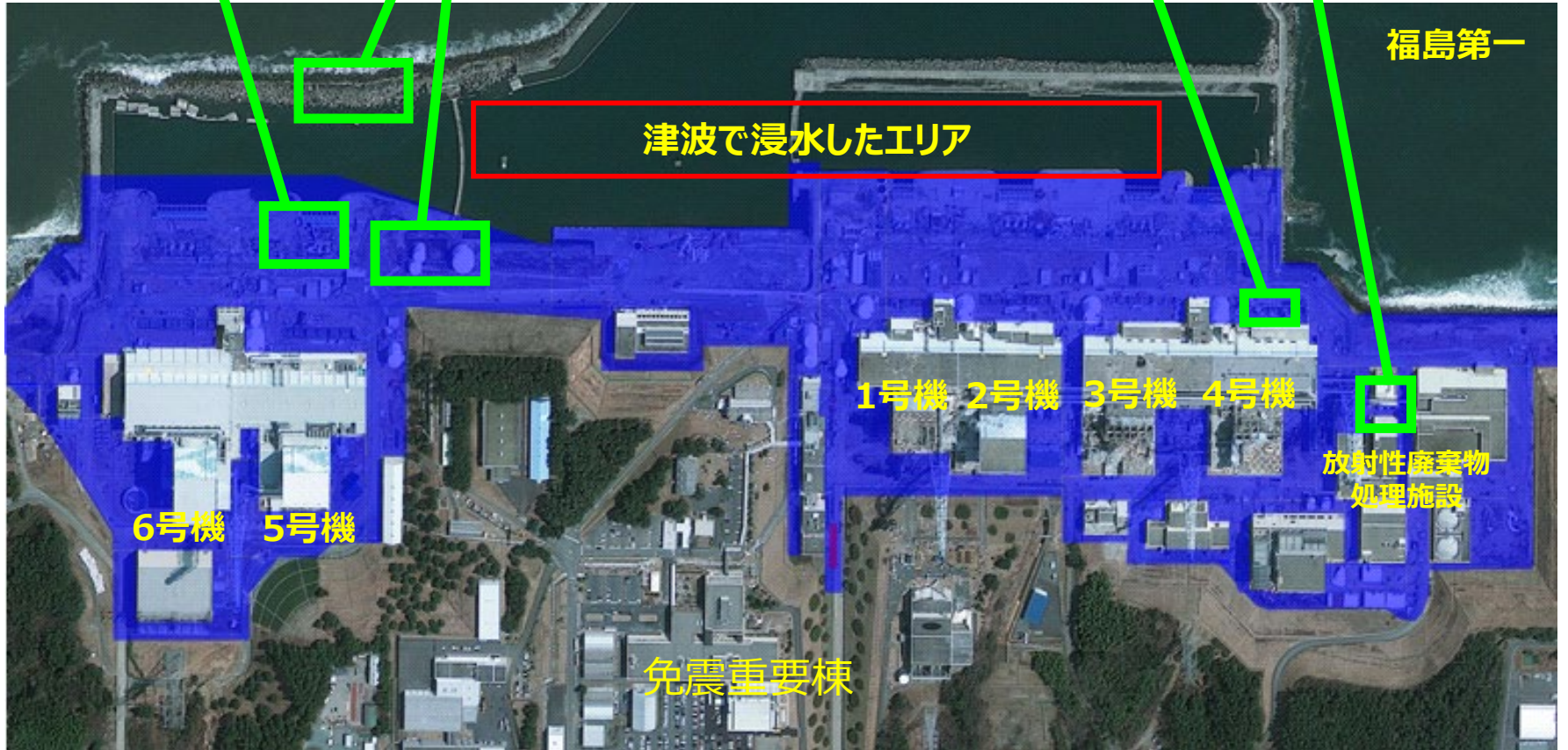


# 1-3. 2011年3月11日 広野火力への津波襲来

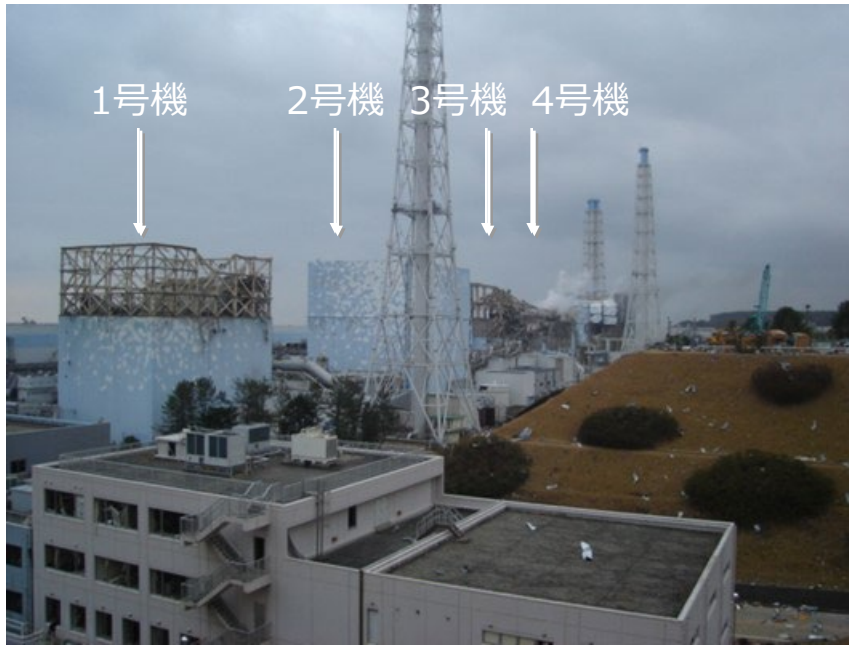
---



# 1-4. 福島第一原子力発電所(1F) の浸水状況

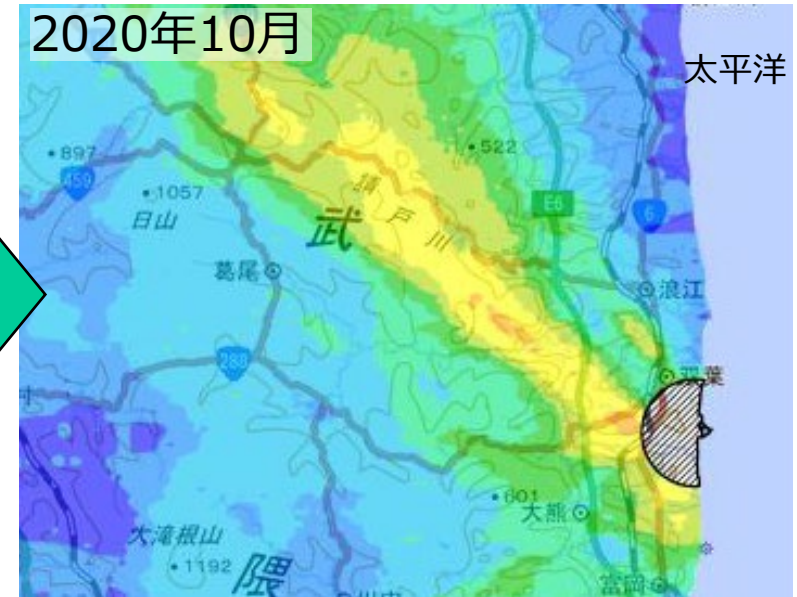
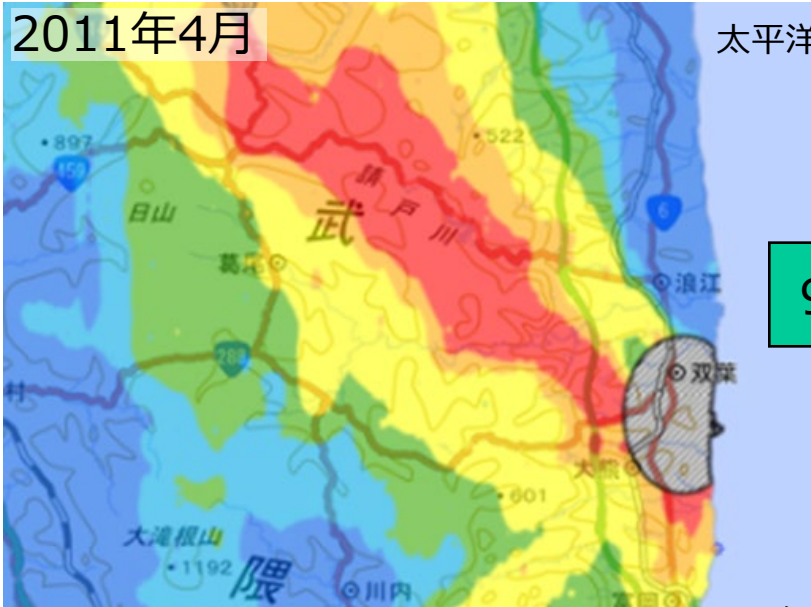


# 1-5. 水素爆発で損傷した原子炉建屋

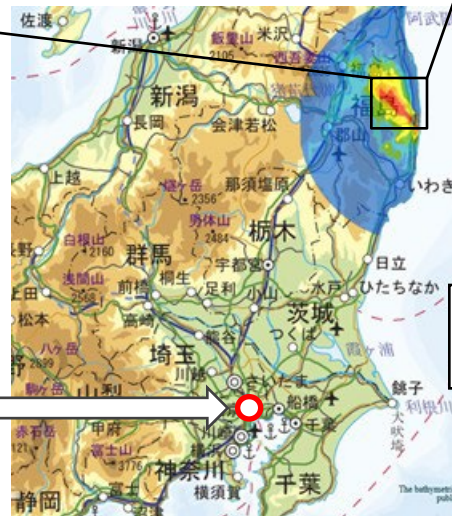


# 1-6. 周辺の放射線量

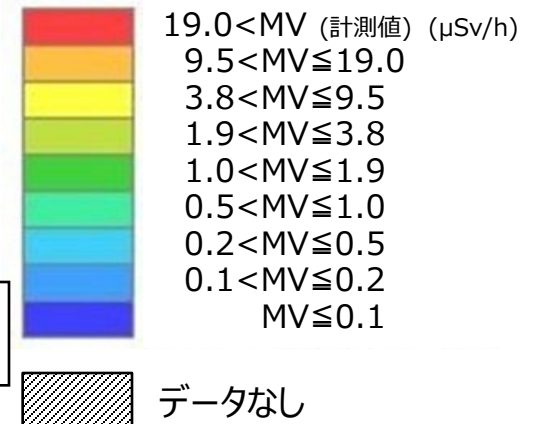
空間放射線量 ( $\mu\text{Sv/h}$ ) ※地表から1mの値



9年半経過



$1 \mu\text{Sv/h} = 8.76 \text{ mSv/y}$   
 $2.3 \mu\text{Sv/h} = 20 \text{ mSv/y}$

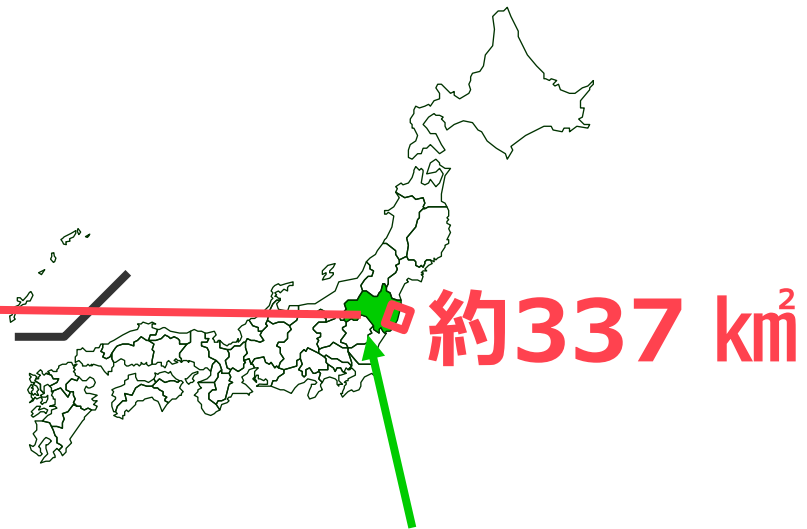
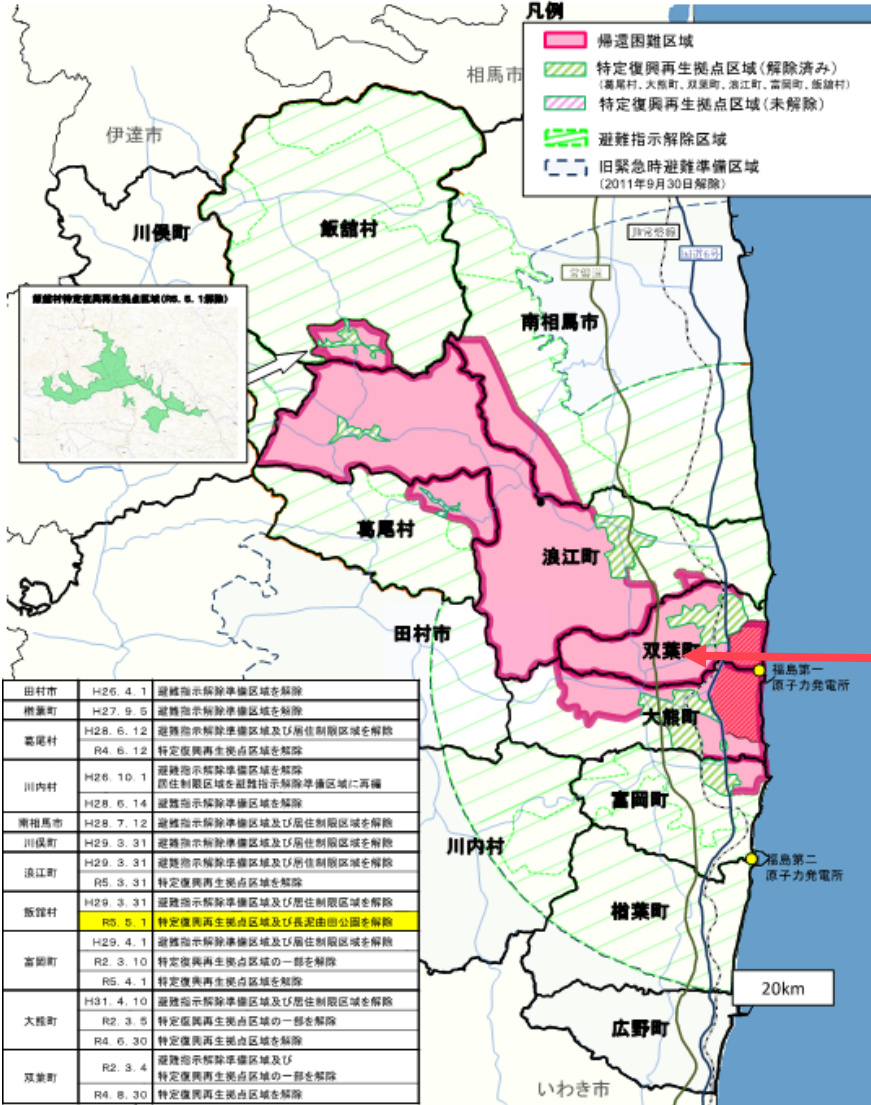


# 1-7. 避難指示区域

## 避難指示区域 (2023年5月現在)

### 避難指示区域の概念図

令和5年5月1日時点 飯館村の特定復興再生拠点区域の避難指示解除後

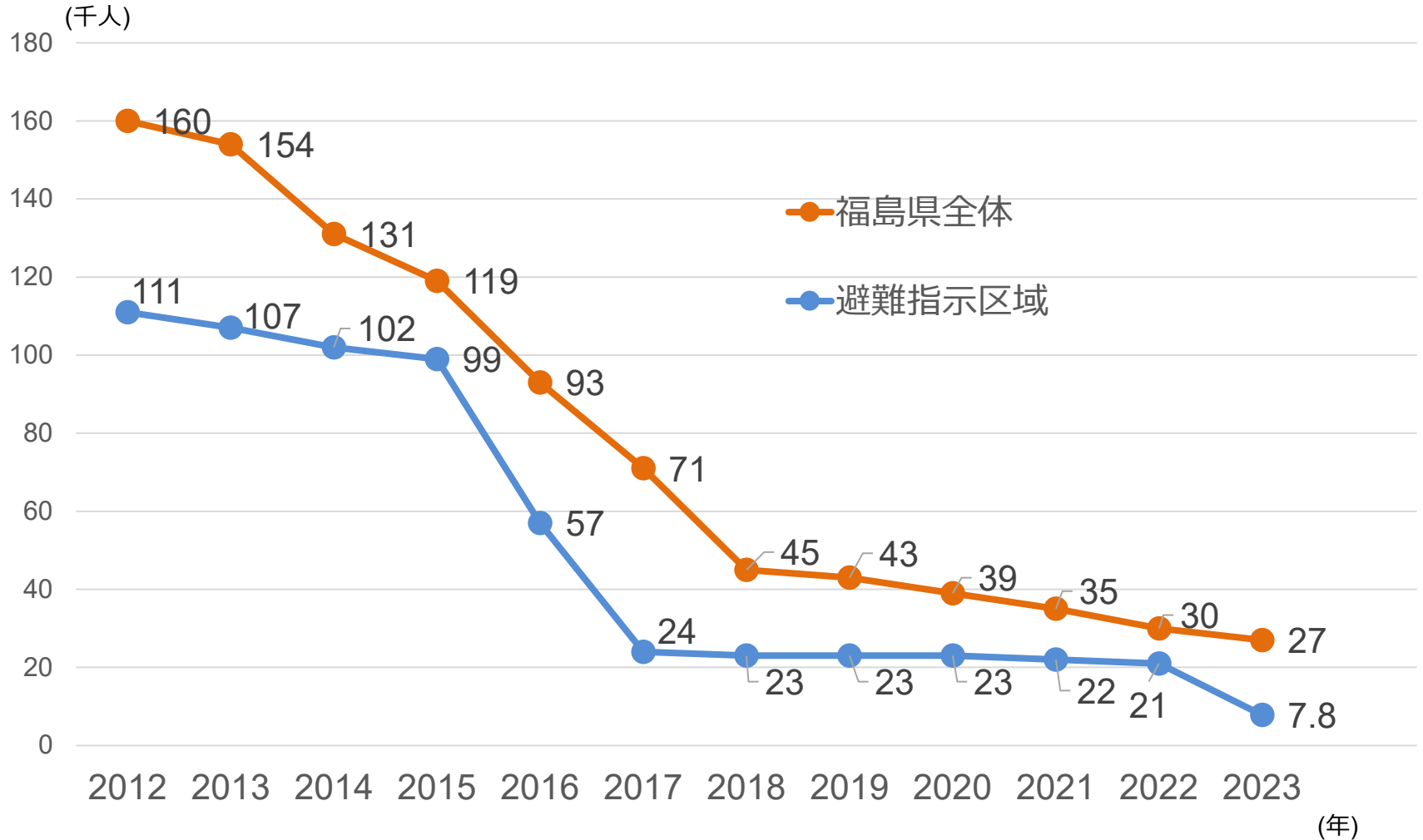


福島県 : 13,784 km<sup>2</sup>

出典 : 経済産業省



# 1-8. 避難指示区域からの避難者数の推移



出典：経済産業省

# 1-9. 福島復興活動 ～ 一日でも早いご帰還に向けて～

- 復興推進活動に従事した社員数： 57万人日（2013年1月～）
- 除染等の活動にも従事



除雪

線量測定



墓地での除草



## 2-1. 事故から学んだ教訓

---

- **安全文化の浸透**
- **効果的なコミュニケーション**
- **「一体感」の醸成**

## 2-2. 事故から学んだ教訓

### ●安全文化の浸透

- 常に問いかける姿勢
- 想定外の状況を予期
- 作業工程よりも安全を重要視
- 「多層防御」で設計
- ベストプラクティスをベンチマーク

### ●効果的なコミュニケーション

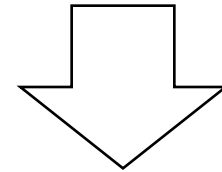
### ●「一体感」の醸成

## 2-3. 事故から学んだ教訓 - 安全文化の浸透 -

Before



「スケジュール・コスト」と  
「安全」は両立せず、  
適宜どちらかを優先



After



最も安全で、  
最も早く、最も安価な、  
「最適な方法」を見つけ出す

## 2-4. 事故から学んだ教訓

---

### ●安全文化の浸透

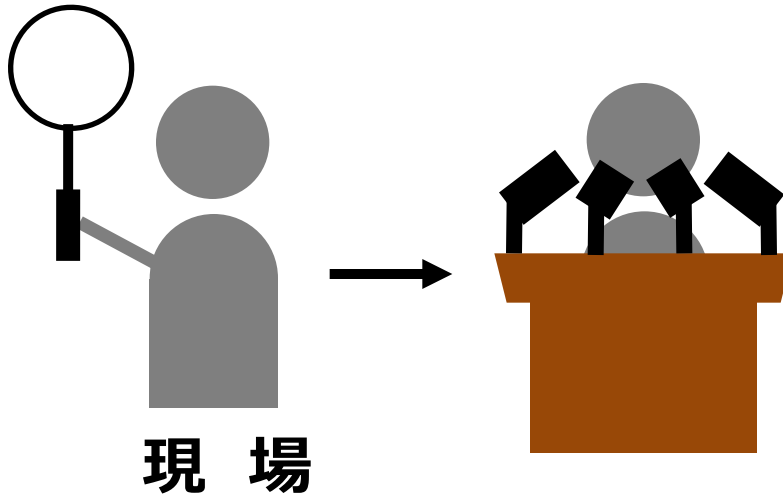
### ●効果的なコミュニケーション

- 透明性が高く、正確で、タイムリーなコミュニケーション
- グローバルな情報発信

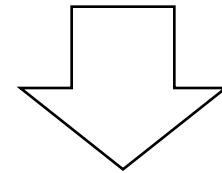
### ●「一体感」の醸成

## 2-5. 事故から学んだ教訓 - 効果的なコミュニケーション -

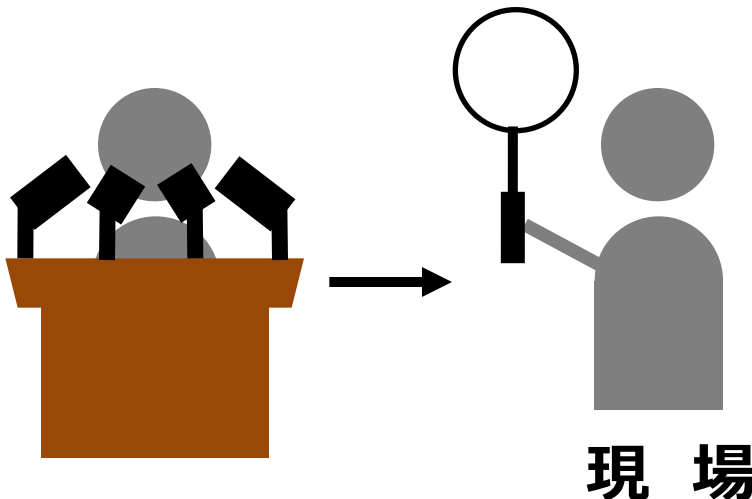
Before



原因等を精査・特定した**後**、  
事故・問題について公表



After



事故・問題が発生後、  
**速やかに公表**（原因等の  
完全な特定を**待たない**）

## 2-6. 事故から学んだ教訓

---

●安全文化の浸透

●効果的なコミュニケーション

●「一体感」の醸成

- 「心を一つに」団結する
- 従業員と直接コミュニケーション



## 2-7. 事故から学んだ教訓 - 「一体感」の醸成 -

- 特に困難が伴う状況下では、従業員とのオープンで継続的なコミュニケーションは極めて重要



従業員とのオープンミーティング



現場第一線機関へのサプライズ訪問

---

ご清聴ありがとうございました